

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

荻野工業株式会社 呉工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市郷原町4010-6

(3) 業種

自動車部分品・付属製造業(3113)

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

荻野工業株式会社は、自動車エンジン及びミッション部品、その他関連部品を生産する会社であり、当社の事業活動、製品又はサービスに関して、環境との調和を経営の最優先課題の一つとしてとらえ、『現在(キョウ)よりきれいな未来(アシタ)を!』をスローガンをもとに下記項目を掲げ、環境保全の継続的改善・向上を全員で取り組む。

- ①環境関係の法規則及びその他の要求事項を遵守し、地域環境及び地球環境の汚染予防等を行う。
- ②事業活動による環境影響のうち、以下の項目を重点管理テーマとして取り組む。
又このテーマを達成する為に環境目的・環境目標を定めると共に定期的に見直しを行う。
 - ・地球温暖化防止を図るために、電力量の低減による省エネルギーを推進する。
 - ・資源枯渇及び廃棄物埋立量削減のために、合理化及びリサイクルにより排出量の低減をする。
- ③環境方針達成のため、この方針を従業員に周知すると共に、協力会社へも周知し理解と協力を要請する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成22年度	平成28年度
二酸化炭素	—	6,991	7,383

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成22年度	平成27年度
二酸化炭素	—	—	—

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成22年度	平成27年度
メタン	—	—	—
一酸化二窒素	—	—	—
HFC PFC SF6	—	—	—

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成22年度)	削減目標		目標年度 (平成32年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	—	—	—	—
非エネルギー起源CO ₂	—	—	—	—
メタン	—	—	—	—
一酸化二窒素	—	—	—	—
フロン類	—	—	—	—
温室効果ガス 実排出量総計	—	—	—	—
温室効果ガス みなし排出量	—	—	—	—
目標設定の考え方	—			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

売上(百万円)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成22年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成32年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	6,991	3,340.00	2.09	37.7	7,428.00	5,700.00	1.3032
非エネルギー起源CO ₂	—	—	—	—	—	—	—
メタン	—	—	—	—	—	—	—
一酸化二窒素	—	—	—	—	—	—	—
フロン類	—	—	—	—	—	—	—
総排出量	6,991	3,340	2.0931	37.7	7,428	5,700	1.3032
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	—	—	27.82	12.5	—	—	24.33
目標設定の考え方	平成27年度エネルギー起源CO ₂ 原単位比 年1%の削減 原単位見込み数値 平成27年度数値と同等						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	電力使用量の削減	電気原単位を年1%低減	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサーの最新機種を導入。 ・休憩時間の消灯。 ・冷暖房温度の適正管理。 ・エアリークによる無駄電力の削減。 ・エアコンフィルターの清掃。 ・空調機器の最新機種への更新
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	—	—
2	—	—
3	—	—

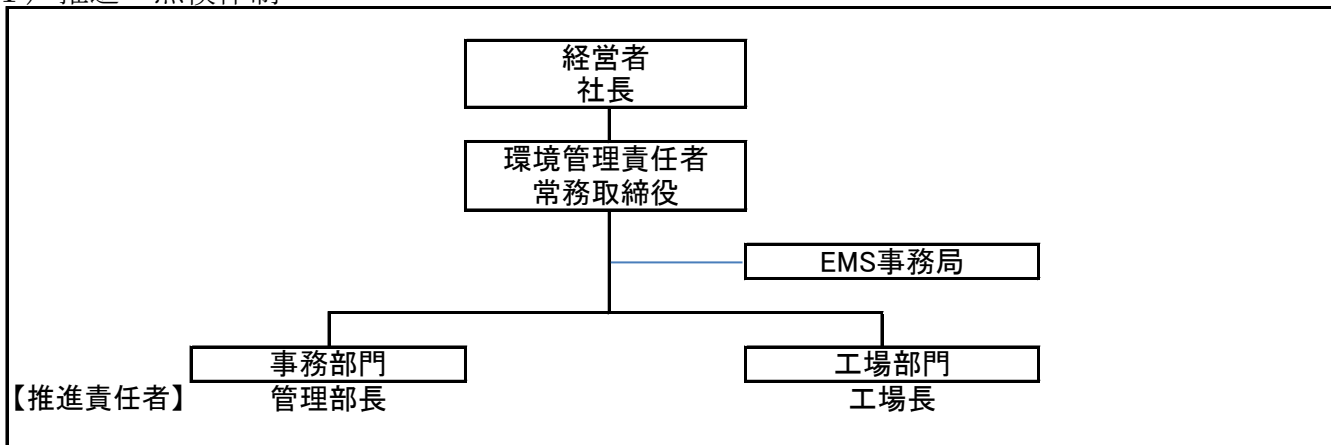
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の分別、維持管理の徹底。 ・両面コピー・裏面利用。
2	リサイクル率の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン商品の購入品目を増加させる。
3	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・環境パトロールの実施。 ・地域清掃活動に参加する。

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

EMS事務局を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

- ・現場への掲示。
- ・事務所への備付による閲覧。